

流山フィルハーモニー交響楽団 第60回定期演奏会

チャイコフスキー  
交響曲第1番「冬の日の幻想」  
シベリウス 交響曲第3番

指揮 佐藤雄一

2022年12月4日(日)

13:30開場 14:00開演

流山市文化会館

全席自由 1,000円(当日券のみ)

中学生以下無料



新型コロナ感染対策のため、入場時に消毒、検温をお願いする場合があります。ご協力をよろしくお願いいたします。

チケット予約/お問合せ

インターネット予約 「流山フィル」で検索

または<http://nagareyamaphil.g2.xrea.com/index.html/>

メール ryuphil\_info@yahoo.co.jp

電話 090-8744-1570 (小林)



こちらのQRコード  
からも予約できます

主催：流山フィルハーモニー交響楽団 後援：流山市教育委員会 協力：流山市音楽家協会

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪ 演奏曲目 ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

シベリウス (1865年12月8日-1957年9月20日)

交響曲第3番 ハ長調 作品52

音楽室でこわい顔をしているシベリウスですが、いつも絶好調とはいかなかったようです。1899年にあの有名な「フィンランディア」が発表されると大絶賛され、一躍超人気作曲家となってしまいました。しかしそのため、かえて生活が乱れ、メンタル的にも落ち込んでしまいました。そんな中で書かれたのがこの曲です。3楽章の交響曲で、第1楽章はシベリウスがイギリスを訪問したときに見た霧の中の風景からインスパイアされたといわれるメロディから始まりますが、冒頭からいかにもシベリウスっぽいハーモニーが響きます。第2楽章は変奏曲なので、最初にフルートなどに現れるメロディがいろいろな楽器に受け継がれていきます。第3楽章は、はじめ山あり谷ありますが5分ほどのところで悟りをひらくようなコラール風のメロディが現れ、徐々に盛り上がって終わります。人生こうありたいと思わせるような一曲です。(演奏時間：約35分)

チャイコフスキー (1840年5月7日-1893年11月6日)

交響曲第1番 ト短調 「冬の日の幻想」 作品13

1866年に書いた最初のバージョンが酷評されたため、何度も書き直して1874年に現在の版が完成しました。天才作曲家も最初からうまくは書けなかったようです。第1楽章は「冬の旅の幻想」というタイトルがついていて、ロシア民謡風のきれいな旋律が出てきます。第2楽章は「陰気な土地、霧の土地」というタイトルで、寒々とした冬の荒野を思わせる旋律が繰り返されます。第3楽章は軽快なメロディで始まりますが、このメロディはチャイコフスキーの最後の作品となったピアノソナタにも使われているそうです。なにか思い入れがあったのでしょうか。第4楽章は最初暗い、寂しげな感じで始まりますが、だんだん盛り上がっていき、最後は堂々とした圧倒的なクライマックスに到達して終わります。このギャップは何なんだ、という感じです。いろんな想像力をはたらかせて聴いてみてほしい曲です。(演奏時間：約43分)

【参考資料】ウィキペディア

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪ 指揮者紹介 ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



佐藤雄一 (Yuichi Sato)

国立音楽大学教育音楽学科第I類卒業。大学在学中に室内オーケストラ「アマデウス・アンサンブル」、合唱団「コレギウム・ヴォカール東京」を組織して指揮。小林道夫氏からは「音に対してこれほどまでに具体的なイメージを持てることは驚異的」との讃辞を受ける。また若手プロ演奏家による「NENDOオーケストラ」を組織して指揮。1999年にパリ・エコール・ノルマル音楽院指揮科に学び、一年後には音楽院初となる飛び級で高等ディプロムを取得し首席で卒業、音楽院史上最高得点に対し審査員特別賞を授与される。流山フィルでは十年以上に渡って数多く指揮している。

流山フィルは団員募集中です。お気軽にお問い合わせください(弦楽器大歓迎!)  
 メール ryuphil\_info@yahoo.co.jp  
 電話 090-8744-1570 (小林)

次回第61回定期演奏会は  
 2023年6月4日スタート  
 おたかの森ホールで  
 開催の予定です!

会場のご案内 (流山市文化会館)

- 文化会館には無料駐車場があります。
- 流鉄流山線  
 流山駅より徒歩 8分
- つくばエクスプレス  
 流山セントラルパーク駅より徒歩 20分

